

三ツ林内閣府副大臣が大山町を視察！

11月3日、内閣府地方創生担当の三ツ林副大臣が大山町の町営ケーブルテレビ「大山チャンネル」の番組制作を受託している(株)アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス(大山町富長)を視察されました。同社は、大山町の地方創生事業であるリノベーション創業支援事業で採択を受け、この夏に、事務所を移転しました。事務所には併設してコラボレーションオフィス「トリコ」をオープンし、コワーキングスペースとして貸出しするほか、ワーケーションの誘致等の取り組みを予定しています。

当日は、三ツ林副大臣、竹口町長、井上鳥取県令和新时代創造本部長、貝本アマゾンラテルナ鳥取大山オフィスゼネラルマネージャー、松浦地域おこし研究員が参会し、竹口町長から大山町の地方創生事業の取り組みの紹介、貝本マネージャーから事業内容の説明・施設案内、松浦研究員から利用者の声をお届けしました。

三ツ林副大臣からは、「今後進めていく地方創生のひとつの形であり、継続して取り組んでほしい。国としても応援したい」とお言葉をいただきました。



▲説明を受ける三ツ林副大臣(左)



▲貝本マネージャー・三ツ林副大臣・竹口町長

大山町では、今後も第2期大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略に沿って事業を展開していきます。将来を見据えた事業提案がございましたら、役場企画課にご連絡ください。

企画課

☎0859・54・5202

寄付ありがとうございます

今年新型コロナウイルス感染症の關係で「大山まきば祭」は中止となりましたが、今年も、琴浦町にある大山乳業協同組合(小前孝夫代表理事組合長)から、大山の頂上を保護する会(会長 竹口大紀)に寄付をいただきました。

贈呈式が11月11日に行われ、小前組合長は「大山の自然保護活動に協力したいという思いで今年も寄付します」と話されました。



▲小前組合長から寄付を受け取る竹口町長

県知事から県民税徴収実績に対する感謝状をいただきました

県民税・市町村民税は、行政サービスに必要な費用を広く住民の方々に負担していただくもので、市町村が賦課・徴収を行い、県へ払込みを行っています。本町では、県民税の徴収及び払込みにおいて、平成27年度から令和元年度まで5年連続して前年度を上回る実績が評価され、11月18日に手嶋西部県税事務所長より感謝状を受贈しました。

今後も適正な課税及び公平な徴収に努めてまいります。



▲手嶋所長から感謝状を受け取る竹口町長